

令和 7 年度

事業計画書

公益財団法人埼玉県健康づくり事業団

令和 7 年度事業計画

公益財団法人埼玉県健康づくり事業団は、県内における健(検)診・検査事業の中核的な機関として、「すべての人々の健康を願って」をスローガンに、顧客満足度の向上を心がけ、県民の皆様の健康の保持・増進に努めてきた。

令和 6 年度は、物価上昇による健(検)診・検査資材の高騰や賃金の上昇に伴う人件費の増加等により、経常収支が赤字となる見込みである。

令和 7 年度も物価上昇と人件費の増加は続くと思われる、経常収支の赤字を余儀なくされるに至っている。そのため令和 7 年度は、顧客の皆様のご理解をいただきながら、健(検)診・検査料金の見直しを進め、安定的な財務運営を図る必要がある。併せて、顧客ニーズを的確に捉え、受診者・受験者の満足度向上を図るとともに、健康づくりの更なる推進に努めていく必要もある。

さらに、昨年 1 月に受けたサイバー攻撃により、顧客の皆様にも多大なご迷惑とご心配をおかけすることとなり、二度とサイバー攻撃を受けない堅牢な情報セキュリティ対策を講じる必要がある。

令和 7 年度は、新たな中期経営計画（令和 7 年度～令和 9 年度）の初年度であり、計画に掲げた目標の達成を目指し、役・職員が一丸となって取り組んでいく。

1 健(検)診・検査事業

(1) 地域保健事業

地域住民の健康の保持・増進を図るため、市町村や各地区医師会と連携し、特定健康診査、結核検診、各種がん検診などの健(検)診・検査を実施する。

コロナ禍で大きく減少した受診者を、市町村と協力して広く受診啓発を行い、受診者数の回復を目指す。

【健(検)診・検査数】

項 目	令和7年度	令和6年度	増減数	増減率(%)
特定健康診査	8,300 人	7,800 人	500 人	6.4
一般健診	650 人	750 人	▲100 人	▲13.3
結核検診	33,700 人	36,500 人	▲2,800 人	▲7.6
肺がん検診	38,000 人	41,000 人	▲3,000 人	▲7.3
胃がん検診	26,000 人	30,000 人	▲4,000 人	▲13.3
子宮がん検診	9,800 人	10,000 人	▲200 人	▲2.0
乳がん検診	33,800 人	32,000 人	1,800 人	5.6
大腸がん検診	19,800 人	19,000 人	800 人	4.2
前立腺がん検査	4,500 件	4,200 件	300 件	7.1
骨粗しょう症検診	4,800 人	6,500 人	▲1,700 人	▲26.1
特定保健指導	5 人	10 人	▲5 人	▲50.0
福祉施設健診	9,300 人	9,300 人	0 人	0
合 計	188,655 人/件	197,060 人/件	▲8,405 人/件	▲4.2

(2) 職域保健事業

勤労者の安全と健康の保持・増進を図るため、職場での一般健診、結核検診、各種がん検診、特定保健指導などを実施する。

また、健診後の保健指導や健康相談など総合的な保健事業を提案し、受診者に選ばれる健診機関を目指す。

【健(検)診・検査数】

項 目	令和7年度	令和6年度	増減数	増減率(%)
一般健診	91,400 人	94,300 人	▲2,900 人	▲3.0
特殊健診	24,000 人	24,000 人	0 人	0
結核検診	9,100 人	9,000 人	100 人	1.1
肺がん検診	900 人	1,000 人	▲100 人	▲10.0
胃がん検診	6,000 人	7,000 人	▲1,000 人	▲14.2
子宮がん検診	1,500 人	1,400 人	100 人	7.1

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減数	増減率 (%)
乳がん検診	2,000 人	1,300 人	700 人	53.8
大腸がん検診	18,500 人	17,500 人	1,000 人	5.7
前立腺がん検査	1,000 件	1,000 件	0 件	0
特定保健指導	1,250 人	1,050 人	200 人	19.0
細菌検査	12,000 件	11,000 件	1,000 件	9.0
合 計	167,650 人/件	168,550 人/件	▲900 人/件	▲0.5

(3) 学校保健事業

児童・生徒の疾病の予防や早期発見を図るため、学校保健安全法に基づく結核検診、尿検査、心機能検査などの各種健（検）診・検査を実施する。

また、教育委員会が独自に行う小児生活習慣病健診などの更なる受託を目指す。

【健（検）診・検査数】

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減数	増減率 (%)
一般健診	7,900 人	8,400 人	▲500 人	▲5.9
結核検診	42,700 人	42,500 人	200 人	0.4
寄生虫卵検査	1,000 件	1,800 件	▲800 件	▲44.4
尿検査	229,700 件	235,000 件	▲5,300 件	▲2.2
小児生活習慣病予防健診	6,400 人	6,400 人	0 人	0
貧血検査	8,750 件	9,400 件	▲650 件	▲6.9
心機能検査	69,700 件	70,000 件	▲300 件	▲0.4
脊柱側弯検査	26,500 件	26,000 件	500 件	1.9
合 計	392,650 人/件	399,500 人/件	▲6,850 人/件	▲1.7

2 指導事業

市町村や事業所等の保健事業を支援するため、産業医による一般指導、医師・保健師・管理栄養士による講演・保健指導、健康運動指導士による運動指導を実施する。

また、ホームページで健康体操や健康情報を動画配信し、生活習慣病や健康増進に向けた支援に取り組む。

【指導事業の指導数】

(単位：回)

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減数	増減率 (%)
一般指導（産業医）	235	250	▲15	▲6.0
講演・保健指導（医師・保健師）	35	15	20	133.3
運動指導（健康運動指導士）	40	35	5	14.2
合 計	310	300	10	3.3

3 作業環境測定・技能講習事業

(1) 作業環境測定事業

労働安全衛生法に定める作業環境測定を通じて、適正な職場環境の確保・維持に向けたコンサルティング・アドバイスを行うとともに、幼稚園・保育園、学校、公共施設などにおける有害物質の測定・分析等を実施する。

今後、リスクマネジメント実施義務対象物質が増加（674物質→令和8年度までに約2,900物質）することから、受託に必要な機器等の整備を行う。

【作業環境測定事業の事業所数】

項 目	令和7年度	令和6年度	増減数	増減率(%)
作業環境測定	190	190	0	0.0
環境計量証明・試料分析等	65	80	▲15	▲18.7
合 計	255	270	▲15	▲5.5

(2) 技能講習事業

有害物質を取り扱う作業場における健康障害及びその予防措置、作業環境の改善方法などの講習を実施し、作業主任者の養成に努める。

【技能講習事業の受講者数】

(単位：人)

項 目	令和7年度	令和6年度	増減数	増減率(%)
鉛作業主任者技能講習	10	10	0	0
特化物等作業主任者技能講習	80	50	30	60.0
有機溶剤作業主任者技能講習	70	50	20	40.0
石綿作業主任者技能講習	30	90	▲60	▲66.6
合 計	190	200	▲10	▲5.0

4 精度管理

各種健（検）診・検査のより一層の精度向上を図るため、埼玉県医師会臨床検査精度管理事業、全国労働衛生団体連合会エックス線写真精度管理調査等の精度管理事業へ積極的に参加する。

また、全国労働衛生団体連合会が定める労働衛生サービス機能評価制度の優良健診機関として、精度の維持・向上を目指す。

5 情報セキュリティ対策

日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)のプライバシーマーク付与事業者として、個人情報適正に管理する。

また、二度とサイバー攻撃を受けないよう、有識者等の助言を踏まえながら堅牢な情報セキュリティ対策を講じるとともに、職員の情報セキュリティ能力を高める研修・訓練を実施する。

6 普及啓発・広報活動事業

(1) 積極的な情報発信

事業団ホームページから積極的に健康づくりに関する情報を発信するとともに、健診センターへのがん啓発横断幕の掲出や健診センターでの疾病予防の情報提供などを行い、広く県民に健康の保持・増進を呼びかける。

また、事業団PR動画やラジオCM（FM NACK5）、広告看板を活用し、広く事業団活動を発信していく。

(2) 複十字シール運動

公益財団法人結核予防会が実施している「複十字シール運動」（8月～12月）に埼玉県支部として参画する。

埼玉県、市町村、医療機関、関係諸団体、事業所等に広く募金の協力を呼びかけるとともに、結核・肺がん・COPDなどの呼吸器疾患の予防に係る啓発活動を実施する。

(3) 結核予防週間及びがん征圧月間における啓発活動

「結核予防週間」（9月24日から30日まで）及び「がん征圧月間」（9月）における啓発活動として、埼玉県、市町村、医療機関、関係諸団体、事業所等へポスター、パンフレットを配布するとともに、SNSを活用し広く検診受診の重要性を呼びかける。

(4) 視聴覚教材の貸出し・啓発資材等の提供

結核、がん等に係るDVDやパネル、乳房模型等の視聴覚教材の無料貸出しを行う。

また、各種リーフレット等の健診結果への同封やイベントでの配布を行うことにより、疾病についての正しい知識の普及を図るとともに、健康診断の受診と疾病の早期発見の重要性をPRする。

(5) ピンクリボン活動

ピンクリボン活動を後援し、リーフレット等の提供などを通して乳がんの正しい知識の普及を図るとともに、乳がんの予防・早期発見を支援する。

(6) 乳がんをなくすほほえみ基金

公益財団法人日本対がん協会が実施している「乳がんをなくすほほえみ基金」の活動に埼玉県支部として参画し、乳がん検診無料クーポン券の配布や検診の実施により、受診率の向上を図る。

(7) リレー・フォー・ライフ

さいたま市、川越市、所沢市で行われている「リレー・フォー・ライフ（がん患者支援のための事業）」に参加し、啓発資材（リーフレット・冊子）の配布や乳房模型・

パネル等の展示、無料がん検診を実施する。

(8) 実習生の受入れ

保健師、看護師などの業務に従事しようとする学生を支援するため、実習施設として医療系大学等の実習生を受け入れる。

7 働きやすい職場づくり

職員の労働生産性の向上を図り、時間外勤務の縮減と年次有給休暇の取得促進に取り組む。

また、時代の変化に合わせ、各種規程・規則等の見直しを行うとともに、メンタル支援体制の強化を図る。

8 優秀な人材の確保と育成

新たに「職員採用戦略」を策定し、従来の採用活動に加え、新たにインターンシップの導入や採用合同説明会への参加など、あらゆる手段を講じて優秀な人材の確保に努める。

また、新たに「職員育成計画」を策定し、OJTの充実や外部研修への参加、積極的な資格取得支援などを行い、職員のスキルアップ、知識と経験の幅を広げる。

9 その他

(1) 料金の見直し

安定的な経常収益の確保を図るため、顧客のご理解をいただきながら料金の見直しを進めていく。

(2) 職員給与等の見直し

優秀な人材を確保するとともに、職員の生活の安定を図るため、職員給与等の見直しを進める。

(3) 環境への負荷低減

医療廃棄物、その他廃棄物の処理を適正に行い、環境保全に努める。

また、省エネルギー・省資源への取組を推進し、環境への負荷低減を図る。